

# まちの話題



## かわいいイラストに感謝状



公益財団法人日母おぎゃー献金募金が発行する冊子「おぎゃー献金のすすめ」の表紙に、長尾美紀さん（上元町）のイラストが採用され、財団から感謝状が贈られました。

長尾さんは「鮮やかなパステルカラーとハートマークで元気な子どもたちを表現しました。自分のイラストを多くの人に観てもらえるのでとてもうれしいです」と話しました。

伊佐市はおぎゃー献金発祥の地です。

※新型コロナウイルス感染防止のため、長尾さんと市長はマスクを着用しています。

## 大口高校生 奨励金交付

3/18



伊佐市役所で大学進学奨励金交付式が行われました。

これは定員割れが続く大口高校への支援策として、市が定める大学に進学する大口高校卒の生徒に対し奨励金を支給するものです。

生徒を代表して池田亜加音さんは「今回いただいた奨励金を進学への準備資金とさせていただきます。大学ではさらに勉学に励み、充実した学校生活を送りたい」と抱負を述べました。

## 地域医療の担い手をめざして

4/8



伊佐市医師会立准看護学校で入学式が行われ、7人の新入生と学校関係者が出席しました。

新入生を代表して竹山和徳さんが「地域医療の担い手としての自覚を持ち、患者を思いやる気持ちを持った准看護師になれるよう、クラス全員合格をめざして2年間の勉学に励みたい」とあいさつしました。

## 福岡の百貨店が伊佐を発信

3/19



伊佐市は百貨店・博多大丸（福岡市）の「九州探検隊」を、PR アンバサダーに認定しました。これは、博多大丸が九州各地の魅力や特産品を発掘・発信するプロジェクトで、県内では5番目の認定。

探検隊副隊長の万田高史さんは「九州各地のモノ・コト・文化を広く発信し、地域活性に繋げたい。伊佐米や焼酎など魅力を全国に発信しています」と話しました。

## 伊佐米でカヌー選手を激励

3/19



菱刈カヌー競技場で強化合宿を行うカヌースプリント競技女子日本代表候補選手4人を市長が激励し、伊佐米80キロを贈呈しました。女子日本代表候補選手の強化合宿は昨年11月に続いて2度目。

小野祐佳さんは「応援していただいて、とてもありがたいです。新型コロナウイルスの影響で東京オリンピックの開催時期も不明確な状況ですが、選手として最高のパフォーマンスを発揮できるよう最大限の準備を行いたいです」と話しました。

また、株式会社財宝からミネラルウォーター100Lをご提供いただき、後日選手のみなさんにお届けしました。

## 手作りマスクで学校応援！

4/8



牛尾小学校応援団の猩々民子さん、脇岡和代さん、寶満千代子さんがマスクを手作りして、全校児童35人に贈呈しました。

脇岡さんは「市販のマスクが入手困難な状況なので、私たちにできる範囲で地域の子どもたちを新型コロナウイルスから守りたい」と話し、3人は持参したさらしを丁寧に縫いあげました。

横濱郁代校長は「学校応援団の方々にはいつもご支援いただき、本当にありがたいです」と感謝しました。



## ピカピカの1年生！

4/3



伊佐市交通安全協会から市内の小学校に通う新1年生195人に交通安全グッズ（黄色帽子とランドセルカバー）が贈られました。

児童代表の5人は「交通ルールを守って学校に行きます」と元気に宣誓しました。

児童・生徒が登下校する時間帯の車の運転は、より一層注意するなど、子どもたちの安全な通学にご協力をお願いします。